### 非同期オンライン・英語ディスカッションのデザインと 探求の共同体(Community of Inquiry)

- 探求の共同体(Community of Inquiry)
  - <u>探求の共同体</u>:社会的存在感(SP)、認知的存在感(CP)、教授的存在感(TP)
  - 質問紙
  - CoIの分類と指標・タグ付け
- 非同期オンライン・英語ディスカッション活動
  - 概要:42名大学生、5トピック、授業外活動、Blackboardの掲示板
- ・ 探求の共同体と英語ディスカッション活動の関係
  - トピック毎の結果
  - 満足度、貢献度、TOEICの結果
  - <u>Col質問紙の結果</u>
  - Colと従属変数の関係
  - 探求の共同体のレベルと活動
- 探求の共同体を適用して英語ディスカッションをデザインするポイント

©2013 合田美子







### 探求の共同体 (Community of Inquiry)

#### 社会的存在感(SP)

- ・グループ内と同じ心境、
- 信頼できる環境で意図的な コミュニケーション
- ・個性を表現し肯定的な関係

認知的存在感(CP)

- ・学習の意図
- ・学習プロセス
  - •学習成果
- →高次認知活動の条件

クライメット

教育的 経験

会話

支援

モニタリング 調整

教授的存在感(TP)

・有意味で教育的学習成果のための認知的・ 社会的プロセスの設計、支援、運営

### 「探求の共同体」質問紙

(Swan, Richardson, Garrison, Cleveland-Innes,, & Arbaugh, 2008)

- 5件法34項目(1:全くそう思わない~5:とても そう思う)
- · 社会的存在感(9項目, α=0.91): 感情表現、 開放的なコミュニケーション、グループの団結
- 認知的存在感(12項目, α=0.95):トリガリング 事象、調査、統合、解決
- 教授的存在感(13項目, α=0.94): 設計と整理 、ファシリテーション、直接的指導



©2013 合田美子

### Colの分類と指標例

(Garrison, 2011)

要素	カテゴリ	指標例
社会的存在感	個人的•感情的	自己投影•感情表現
	開放的なコミュニケーション	学習クライメット・リスクフリーの 表現
	グループの団結	グループへの共感、協調
認知的存在感	トリガリング事象	困惑の感覚
	調査	情報交流
	統合	アイディアの結合
	解決	新しいアイディアの適用
教授的存在感	設計と整理	カリキュラムと手法の設定
	会話のファシリテーション	構成的なやり取りの形成
	直接的指導	課題の焦点化と解決





### タグ付け例(トピック5の一部)

		Social Presence							Cognitive Presence							
	interpersonal	communic	ation		Open Communication			Cohesive communication			Triggerin g event	Exploratio n	Integration	Revolution		
Comments	affective expression	self- disclosur e	humor		from others'		Askin g questi ons	expressi	Expressi ng agreem	Vocative	Addressing or refers to the group using inclusive pronouns	Phatics, solution s	Evocative (inductive	Inquisitive (divergent)	Tentative (Converge nt)	Committed (deductive )
I most want to live in Australia.														1		
One of the most important reasons is the high voting rate of citizens.														1		
The high voting rate means that the citizens improve their politics.														1		
And this is lack in Japan.														1		
I want to live Australia too.									1					1		
But I most want to live Spain.														1		
Because I like soccer very much.		1														

©2013 合田美子







## ディスカッショントピック

Discussion	Topic	Problem
1	Your Ideal House	What is your ideal house? Please share your ideas with the group members.
2	Items to Carry During Earthquakes	What should we bring with us when another earthquake hits us?First, have your group list as many items you feel are necessary for your survival as you can. Then, choose three most important items from your discussion.
3	Factors that Activate Group Discussion	What is important to make a discussion group into an active learning community? Based on your experiences of Group Discussion 1 and 2, please identify what type of factors and determine three most important factors in your group.
4	Nuclear Power Plants	What do you think of the nuclear plants in Japan? Discuss the topic, "The Japanese government should abolish nuclear power plants." Please find evidence to support your opinions using the internet or other resources, and share the information with your group members. Please choose a position on the topic as a result of the discussion in your group.
5	Foreign Country to Live	Suppose we have to move to a country outside of Japan. If you had to live in another country for 10 years, which country would your group choose to live in? Choose one country, and identify your reasons for choosing that country at the end of today's discussion.





# 記述統計(1):ディスカッション

Discussion	Comments	Sentences	Words	Sentences/ Comment	Words/ Sentence
1	107	178	635	1.66	3.57
2	200	297	1806	1.49	6.08
3	81	118	957	1.46	8.11
4	6	14	182	2.33	13.00
5	151	315	2138	2.09	6.79
Total	545	922	5718	1.69	6.20

### 記述統計(2):満足度, 貢献度, TOEIC

	N	Min	Max	M	SD
Discussion Satisfaction	42	2.00	4.00	2.95	0.58
Discussion Contribution	42	0.00	75.00	35.49	21.73
TOEIC	42	315.00	620.00	449.88	70.98



#### eラーニング授業設計支援室 ランチョンセミナー

#### Luncheon seminar

CoI	下位項目		質問項目	m	sd
		Q1	教員は、授業の重要なトピックを明確に示した。	4.21	0.90
	=n=⊥ l₂≢∕rm	Q2	教員は、授業の重要なゴールを明確に示した。	4.38	0.58
	設計と整理	Q3	教員は、授業の学習活動への参加の仕方を明確に指示した。	4.45	0.59
		Q4	教員は、学習活動の重要な予定の時間や日程の枠組みを明確に示した。	4.45	0.74
		Q5	学習に役立つ授業のトピックに関する意見が一致している領域や意見が不一致な領域を特定するのに、教員は支援してくれた。	3.69	0.84
	_ 、	Q6	思考を明確にするのに役立つ方法で、クラス全体が授業のトピックを理解出来るよう、教員は支援してくれた。	4.07	0.81
TP	ファンリエー	Q7	教員は、クラス全体を成果に結び付く会話に引き込み参加させ続けるように支援してくれた。	4.02	1.02
	ション	Q8	教員は、私が学習するのに役立つ方法で、クラス全体をタスクに従事し続けるように支援してくれた。	3.90	0.82
		Q9	教員は、学生にこの授業の新しい概念を調べることを奨励した。	3.45	0.97
			教員の振る舞いは、学生間のコミュニティの感覚をつくりあげることを促進した。	4.24	0.73
		+	教員は、自分が学習するのに役立つ方法で、関連する課題に関するディスカッションに集中できるように支援してくれた。	4.14	0.93
	直接的指導	Q12	教員は、自分の長所と弱点を理解するのに役立つフィードバックしてくれた。	3.38	1.06
			教員は、適切な時にフィードバックしてくれた。	3.64	0.98
			他の学生のことを知ることは、授業に所属している感覚を与えてくれた。	3.83	1.08
	感情表現		学生の数人に、違った印象を持つことができた。	3.67	1.14
			オンラインまたはwebを使ったコミュニケーションは、気持ちや考えなどを伝え合うために優れたメディアである。	3.98	1.07
	開放的な	Q17	オンライン上で会話をすることに不安を感じなかった。	3.64	1.27
SP	コミュニ	Q18	授業のディスカッションに参加することに不安を感じなかった。	3.79	1.09
	ケーション	Q19	他の学生と交流することに不安を感じなかった。	3.86	1.07
	Fu 30	Q20	信頼感をまだつくりあげている頃に、他の学生に異議を唱えることに不安を感じなかった。	3.31	1.14
	フルーノの 団結	Q21	自分の観点は、他の学生によって受け入れられていると感じた。	3.88	0.80
	1	Q22	オンラインディスカッションは、協力している感覚を自分が作り上げるのに役立った。	3.60	0.89
		Q23	授業の課題として扱った問題によって、興味が深められた。	3.86	0.75
	トリカリング	Q24	授業の活動によって、興味がそそられた。	3.79	0.90
	<b>争</b> 多	Q25	質問に関連する内容を調べることに意欲をもったと感じた。	3.52	0.86
		Q26	この授業で扱った問題を探索するために多様な情報源を使った。	2.93	1.22
	調査	Q27	授業内容に関連する問題を解くのに、ブレインストーミングや関連情報を調べることが役に立った。	3.31	1.02
CP		Q28	オンラインディスカッションは、他の見方を認識することに有益であった。	4.26	0.73
CP		Q29	新しい情報を組み合わせることは、授業活動で生じた質問に答えるのに役立った。	3.71	0.81
	統合	Q30	学習活動は、説明や解決策を組み立てるのに役立った。	4.02	0.64
		Q31	授業の内容やディスカッションを振り返ることは、この授業の基盤となる概念を理解するのに役立った。	3.98	0.78
		Q32	この授業で身に付いた知識を試したり、応用したりする方法を説明できる。	3.26	1.01
	解決	Q33	実践にも応用することができる、授業の問題への解決策を考えた。	3.19	1.09
		Q34	この授業で作り上げた知識を、自分の普段の活動や他のクラスに関係ない活動に応用することができる。	3.67	0.87





#### eラーニング授業設計支援室 ランチョンセミナー

#### Luncheon seminar

# CoIレベルと 従属変数の 関係

Discussion Commentに関して統計的有意: HHH vs. HLM, HLL, LLL HHL vs. HLL, LLL

*Note*: <sup>a</sup>TP: Teaching Presence, SP: Social Presence, CP: Cognitive Presence. <sup>b</sup>H: The average is equal to or greater than 3.5, L: The average is less than 2.5.

©2013 合田美子

				MAN	<del>O</del> OM	SON	MUN
	Dependent	Comn	nunity of In	quiry <sup>a</sup>			
	Varibale	TP	SP	CP	m	sd	n
		H <sup>b</sup>	Н	Н	14.37	4.19	19
		Н	Н	L	14.43	3.15	7
	<b>5</b>	Н	L	Н	9.60	4.04	5
	Discussion Commnet	Н	L	М	17.00		1
	Number	Н	L	L	7.50	6.86	4
	Number	L	Н	L	11.00	1.41	2
		L	L	L	7.75	4.99	4
				total	12.43	4.96	42
		Н	Н	Н	3.00	0.67	19
	Discussion Satisfuction	Н	Н	L	3.00	0.58	7
		Н	L	Н	3.20	0.45	5
		Н	L	М	2.00		1
		Н	L	L	3.00	0.00	4
		L	Н	L	2.50	0.71	2
		L	L	L	2.75	0.50	4
				total		0.58	42
		Н	Н	Н	34.25	22.79	19
		Н	Н	L	46.71	16.40	7
		Н	L	Н	43.60	26.96	5
	Discussion	Н	L	M	20.00		1
	Contribution	Н	L	L	30.00	24.49	4
		L	Н	L	42.50	3.54	2
		L	L	L	17.50	15.00	4
				total	35.49	21.72	42
		Н	Н	Н	440.79	69.65	19
		Н	Н	L	470.71	75.47	7
		Н	L	Н	483.00	44.94	5
than	TOEIC Score	Н	L	М	315.00		1
	TOEIC Score	Н	L	L	400.00	55.53	4
		L	Н	L	470.00	98.99	2
_		L	L	L	488.75	65.49	4
eラーニ		75+		total	449.88	70.98	42
数揺シス	テム労事な	Kumam	oto I Iniv	oreity			

10

プンナョン 教授システム学専攻

Kumamoto University

### CoIと従属変数の関係

		Discussion Comment Number	Discussion Satisfuction	Discussion Contribution	TOEIC
	Teaching Presence (TP)	.195	.347*	.247	056
Community of Inquiry	Social Presence (SP)	.483**	.287	.222	101
	Cognitive Presence (CP)	.120	.313*	.206	047
	Design & Organization	.232	.346*	.424**	.091
Teaching Presence (TP)	Facilitation	.136	.324*	.177	048
	Direct Instruction	.177	.237	.117	160
0 : 15	Affective Expression	.363*	.172	016	254
Social Presence (SP)	Open Communication	.436**	.269	.350*	.033
	Group Cohesion	.357*	.229	.148	046
	Triggering Event	.200	.307*	.285	022
Cognitive Presence	Exploration	.227	.281	.185	047
(CP)	Integration	010	.264	.143	178
	Resolution	006	.213	.091	.050

©2013 合田美子



# CoIを適用した英語ディスカッションのデザインポイント

- ・生産的な参加を促すために社会的存在感:開放的なコミュニケーションの支援が必要
- 活動に対する満足度を上げるために教授的存在感と認 知的存在感を高める
- 学習コミュニティへの貢献度を上げるために教授的存在感の整理とデザイン、および社会的存在感の開放的コミュニケーションを高める
- CSCL活動はすべての英語レベルの学習者に練習の 機会を与えることができる
- ・ 社会的存在感を構築し学術的な目的にフォーカスする ように支援する。

### ニュース

出版社からのお知らせ:

Dear Professors, Authors, and Editors,

I wanted to reach out to you and let you know that your IGI Global title, "<u>Educational</u> <u>Communities of Inquiry</u>", was recently chosen for indexing in the prestigious <u>ERIC</u> Index.

ERIC - the Education Resources Information Center - is an online digital library of education research and information. ERIC is sponsored by the Institute of Education Sciences (IES) of the U.S. Department of Education and provides ready access to education literature to support the improvement of practice in learning, teaching, educational decision-making, and research.

### 編著者からのお知らせ:

- ・ メタ認知に関する調査が進行中
- 質問紙の妥当性検証 などの協力

